

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

|        |                             |           |              |
|--------|-----------------------------|-----------|--------------|
| 名称：    | 川越市立小室保育園                   | 種別：       | 保育所          |
| 代表者氏名： | 増田 智子                       | 定員(利用人数)： | 80 (82) 名    |
| 所在地：   | 〒 350-1106<br>埼玉県川越市小室309-2 | TEL       | 049-242-2095 |

③評価実施期間

平成28年5月20日(契約日)～平成29年2月3日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○豊かな自然環境を活かした保育活動を展開し、子どもたちの成長につなげている  
園舎の周りには公園が12箇所ほどあり、目的地に行くまでにはどんぐり林や梅林をはじめ、いなごやザリガニ・つくしなど四季折々の自然に触れながら散歩ができたり、電車を見れるパノラマスポットなど子どもたちが楽しむ環境があり、天気がよければ散歩に出かけている。公園では、近隣の園と待ち合わせてドッチボールを楽しむ機会もある。園庭は日当たりもよく安全が保たれ素足で遊ぶ姿は日常的にあり、クラス活動が一段落をしたり、夕方の延長保育の時間帯にも園庭で遊ぶことができるようにするなど、恵まれた自然を活かした保育活動を豊かに行っている。

○地域から農産物などをもらったり、園庭で育てた野菜を使って食への関心を深める活動を楽しんでいる  
地域の人からサツマイモやたけのこ・みかんの収穫の声がかかり子どもたちが取りに行ったり、収穫したサツマイモで焼き芋をするために4・5歳児が焚き木集めに公園に出かけるなど、準備から子どもの活動として計画するなどの工夫をしている。園庭の畑で収穫したじゃがいもでポテトピザを作ってみんなで食べたり、ピーマンやトマト・なすを収穫して調理活動に活かすなど、子どもたちの食への興味や関心を深める取り組みが行われている。

○園長・副園長のリーダーシップが活かされ、職員間の連携のもと、保護者の満足度につながっている  
園長と副園長のリーダーシップが活かされ、職員間での支え合いや連携がスムーズに行われている。職員間での連携を活かした子どもたちの健康管理や保健衛生に関する取り組みが的確に進められている。園長の保育業務へのサポートや保育活動への的確なアドバイス、副園長の的確な指導や園長の補佐など、保育園全体で子どもたちを見守る体制が形づくられ、健康管理やアレルギー対応、食育への取り組みなどと合わせて、保護者からの高い満足度につながっている。

◇特にコメントを要する点

○地域との連携を活かして子育て支援につながる取り組みを進め、さらなる保育の充実に活かされたい

周辺他園とのリズム交流や地域居住者とのコミュニケーションを活かした関係が子どもたちの楽しい保育園生活につながっている。周辺自治会との連携をさらに強化し、防災や防犯への取り組みへの協力・支援を活かしたり、地域の資源などを活かしたさらなる取り組みも期待したい。また、保育園周辺の子育て家庭支援につながる同年齢の子どもの様子が分かる場として、保育園の果たす機能が重要となってきた。公開保育や園庭開放などの取り組みを進め、保育園での取り組みを知ってもらう活動を行うとともに、今後も様々な行事などに参加してくれる子育て家庭からのニーズなどを把握して園の専門性を活かした取り組みを進めることで、身近な子育て支援施設としての展開などをさらに検討されたい。

○保育に関するマニュアルの整理、見直しの検討を期待したい

保育マニュアルは園長会で作成し、全職員に配布され、事務室にも保存され、2年毎に見直されている。内容は保育者としての基本姿勢や苦情・ボランティア・散歩マニュアル・防犯対応マニュアル・食事・食物アレルギー・虐待などの項目が渾然と収められており、必要な対応が記載されていないものも見られる。保育にかかわる基本の部分を分け、マニュアルとして細分化し、マニュアルには知識や対応方法や必要に応じて体制の問題など、現場で行っている取り組み方法などをわかりやすく掲載し、適宜活用できるように整理するなどの検討を期待したい。

○保育活動の取り組みを活かし、園独自の中期計画の策定につなげ、職員間での共通認識を高め、資質向上、やる気などのさらなる向上に活かされたい

市の子育て支援に関する中長期計画が策定されており、保育理念・方針が活かされ、保育園の運営や保育活動等が進められている。また、地域資源を活かして子どもたちの楽しいにつながる保育が展開されている。これらの保育活動などをもとに、職員全員で保育園の将来像を共有し明確にすることで、職員間での共通認識をさらに進め、具体的な目標及び達成指標などを検討して、園独自の中期計画として取りまとめることで保育活動のさらなる改善と職員の資質向上につながることを期待できると考える。また、保育室やおもちゃの整備、保育園設備の改善への取り組み、食育等へのさらなる取り組み、安全安心への配慮などを中期計画の中に位置づけて職員間での協議を進め、さらに職員の専門性などを活かした地域の子育て支援への活動促進なども検討されたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり